

当面の電力需給見通しについて

1. 需給状況と見通し

東京電力では原子力発電の安全と安心を確かなものにするため、原子炉を停止して綿密な点検・補修を行っています。これまでに発電を開始したプラントは以下の通りですが、他の 14 基については現在、運転の停止が続いています。

- ・ 柏崎刈羽 6 号機 (135.6 万 kW) : 5 月 9 日
- ・ 7 号機 (135.6 万 kW) : 6 月 20 日
- ・ 福島第一 6 号機 (110 万 kW) : 7 月 13 日

上記以外の原子力 14 基の停止が続いた場合、今後、需給が逼迫する可能性があります。その場合、追加供給力の最大限の活用等により安定供給を確保する考えです。

また、梅雨明け以降、猛暑となった場合には、6,450 万 kW の需要予測に対して供給力が大幅に不足する見通しです。(450 万 kW)

その際には、追加供給力(約 300 万 kW)の最大限の活用や需給調整契約による需要の抑制等を実施していきませんが、設備トラブル時に対応する予備的な供給力確保¹⁾(300 万 kW 程度)を考慮すると、それでも供給力不足は解消されないため、更に追加的に原子力プラント 5~7 基程度の運転再開を目指します。

- 追加供給力対策には、不安定な要素が多く(試運転電力は補修や点検のため安定的に期待できない可能性があります)さらに発電設備の運転停止リスク、気温上昇による需要急増のリスクを考慮すると、300 万 kW 程度の予備的な供給力を保有したいところです。

高需要は盆休みを除く 7 月上旬から 9 月上旬にかけて、平日昼間に下記の頻度で発生する可能性があります。具体的な日時については、今年の気象次第となります。

- ・ 5,500 万 kW 以上の高需要発生：夏季平日(盆休み期間を除く)43 日中 15 日程度。
- ・ 6,000 万 kW 以上の高需要発生：夏季平日(盆休み期間を除く)43 日中 8 日程度。

各月の需給見通し (停止中の原子力プラントが継続して停止すると仮定)

【通常時】(通常的气象条件の場合) (万 kW)

	7 月	8 月
需要	6,100	6,100
供給力(2)	6,000 ^(3)	6,100
予備力	100	0

【高需要時】(厳しい気象条件の場合) (万 kW)

	7 月	8 月
需要	6,450	6,450
供給力(2)	6,000 ^(3)	6,100
予備力	450	350

3 : 7/14 ~ 7/31 の平均

2. 供給力および需要面の対策

これまでに見通しのついた主なもの(左表の供給力(2)に含めてあります)

長期計画停止火力再開：夏季約 220 万 kW

発電所	号機	供給力	運転再開日
横須賀	8 号	35 万 kW	H14/11/27
鹿島共火	2 号	35 万 kW	H14/12/3
横須賀	7 号	35 万 kW	H14/12/27
川崎	5 号	17.5 万 kW	H15/2/4
横須賀	6 号	35 万 kW	H15/2/21
横須賀	5 号	35 万 kW	H15/5/29
横須賀	2 号	26.5 万 kW	H15/6/26

停止時期の繰り延べ：約 10 万 kW

発電所	号機	供給力	時期延期
君津共火	2 号	12.5 万 kW	6 月 ~ 10 月 ~

夏季対策として合計約 550 万 kW を確保。

他社からの応援融通計画受電：夏季約 165 万 kW

受電時期	送電会社	受電電力	備考
4 月 ~	北海道	30 万 kW	
	北陸・関西・九州	35 万 kW	うち 5 万 kW は関西の水力機の 50Hz 運転
6 月 16 日 ~	中部	9 万 kW	電発佐久間水力機の 50Hz 運転
6 月 23 日 ~	北海道	30 万 kW	
	関西	42 万 kW	うち 2 万 kW は水力機の 50Hz 運転
	九州	20 万 kW	

その他：夏季約 150 万 kW

- ・ 新設火力発電所の運転開始時期繰り上げ(品川 1 3 軸、富津 3 2 軸、各 38 万 kW)
- ・ 自社火力補修時期調整(7 月：10 万 kW、8 月：70 万 kW)

追加供給力対策(左表の供給力(2)に含まれていません) (万 kW)

	7 月 ^(3)	8 月	備考
試運転電力	170	120	常陸那珂 1 号(100 万 kW)、品川 1 3 軸・富津 3 2 軸・同 1 軸(各 38 万 kW)
自家発電余剰の購入	50	50	JR 東日本様等。
火力の増出力運転	70	70	需給逼迫時には自社に加え他社にも増出力を依頼
その他	30	30	
合計	320	270	3 : 7/14 ~ 7/31 の平均

需要対策 (万 kW)

随時調整契約実効値(推定)	130	130	5 月当初の 80 万 kW から、50 万 kW の増加。
---------------	-----	-----	--------------------------------

さまざまなリスクを考慮し、追加供給力対策の確実性を高めるとともに、すでにお客さまにご協力いただいている需要面の対策につきまして、引き続きお願いして参ります。

- ・ 需給調整契約の確保.....計画調整：約 140 万 kW、随時調整：約 130 万 kW のご協力をいただける見込みであります。
- ・ さらなる節電のお願い...高需要が予想される夏の期間(6/23 ~ 9/5：予定)、テレビ・ラジオ・インターネット・テレホンサービスを使った「でんき予報」を流し、広く節電を呼びかけております。